

## 大支援研 ICT 活用プロジェクト iPad 体験会の報告

今年は、2018年2月16日（木）大阪教育大学天王寺キャンパスで、講師の仲矢史雄先生が開発した児童生徒向けのタブレット端末・学習支援アプリの「OMELET（オムレット）」を使ったiPad 体験会を実施しました。

今回の体験会に参加された方の所属は小学校支援学級を担任や中学校の支援学級の担任の方々に、全部で11名の参加がありました。



体験会は、初めに「OMELET」シリーズの「つくるんです OMELET」のダウンロードの仕方を練習しました。

- ①「App Store」で「つくるんです」と検索してアプリ「つくるんです OMELET」をダウンロードする。
- ②次に、検索したアプリのダウンロード画面の中にある「Osaka kyoiku University」をタップして OMELET シリーズの他のアプリ「まなぶんです OMELET」と「のこるんです OMELET」もダウンロードしました。

次にダウンロードしたアプリ「つくるんです OMELET」を起動させて、文字入力の方法やイラストを挿入方法、iPad の写真機能を使って撮影した写真を活用する方法などを指導して頂きながら「新教材作成」を体験しました。

「つくるんです OMELET」の次は、2つ目の児童生徒用学習アプリ「まなぶんです OMELET」（読み書きの学習に困難がある児童生徒の「まなび」をサポートする学習アプリ）の教材作りを体験しました。回答の仕方は4つの方法（①キーボード入力、②フリーハンド入力、③写真撮影、④録音（特に書字に困難を持つ児童生徒のため））があることや、選択問題や数字回答問題作成では、配慮として即時正誤判定機能（表示、音による通知）があり、すぐに正解・不正解が確認できることを紹介して頂き、問題作成を体験しました。

「まなぶんです」の後は、アプリ「のこるんです OMELET」（読み書きの学習に困難を持つ児童生徒の学びを残す「学習履歴管理」をサポートするアプリ）の紹介があり、教師が添削したコメントや児童生徒がどのような手順で学んでいったのかを確認（学習プロセスの再生）できる機能について体験しました。

体験会は、初歩的な質問をはじめ、いろいろな質問に対して講師の仲矢先生は、笑顔を交えながらとても丁寧で分かりやすく説明して頂き、参加者された先生方皆様から多くの感謝の言葉をお聞きすることができました。また、体験会終了後には、ダウンロードして、実際に自分で作ってみたいとの声もでていました。